

綱封蔵（倉庫）

この大きな倉庫は、平安時代（794～929 年）に建てられたものであり、1967 年に国宝に指定された。奈良の東大寺にある正倉院と同じように、この建物の大きな特徴のひとつは高床式になっていることである。そして一つの屋根で覆われた左右 2 つの独立した蔵に分かれており、そのそれぞれに法隆寺に寄贈された仏教の宝物が収められている。僧侶たちは二つの蔵の中央にある空間に面した扉から宝物の出し入れを行っていた。このようなタイプの建物は「双倉」と呼ばれる。